

メッセージアウトライン 2017年7月16日(日)「試練は何のためにあるの？」

聖書箇所：ローマ8：28、29

タイトル：「試練は何のためにあるの？」

テーマ：全地を支配し、全知全能であられる神が、イエス・キリストを信頼し従おうとする者になぜ様々な苦難ともいうべき試練や問題をお与えになるのでしょうか。神がクリスチャンに試練をお与えになる時、一体何を意図しておられるのでしょうか。私たちは無意味なわけのわからないものに出会うと、不安を覚えます。でもはっきりと目的がわかっている、それに意味があるとわかれば、不安は取り去られ、まして、その先に素晴らしいものが待っているとわかっているならば、喜んで耐えることも対処することもできます。

今日の聖書のみことばの中に、神がクリスチャンに与えられる試練の意味と目的を見出し、神がどれほど私たちを愛してよきものを備えて下さっているかを見てまいりましょう。

1. 文脈の確認

*パウロはローマ8章の全体をとおして、イエス・キリストを信じる者は罪と死の原理から解放され、信者の心の中に住んで下さっている御霊に導かれて、キリストと共に栄光を受けるための道を歩むと語っている。

*救いの完成(すなわち栄化)までの道のりを阻むものがたくさんあるが、いかなる患難も迫害も飢えも危険も死でさえも、クリスチャンをキリストの愛から引き離すことは出来ない、パウロはクリスチャンの救いの完成に至るまでの勝利宣言をしているのである。

*しかし、現実にはクリスチャンは様々な試練に出会うのは事実である。なぜなのか。

2. ローマ8：28について(キリストに似た者とされ、ついには栄化に至る人々について)

①「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには」

*みことばの約束が誰に与えられているのか？

②「神はすべてのことを働かせて」

*すべてのこととは何を指すのか？

③「益としてくださることを」

*益としてくださるって何もかもうまくいってことですか？ いいえ。

④「私たちは知っています」

3. ローマ8：29(苦難の持つ意味と苦難の目的)

①「なぜなら神はあらかじめ知っておられる人々を」

- ②「御子のかたちと同じ姿に定められたからです」
- ③「それは、御子が多くの兄弟たちの中で長子となられるためです」

4. 神がすべてのことを働かせて益として下さった例（創世記のヨセフ）

5. 結論

- ①注意すべきこと
- ②クリスチャンの人生が味わい深いものとなるために